

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 。 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19年 5月 15日
事業所名	フレンズハウス大塩
事業所番号	2371001088
記入者名	職名 ホーム長 氏名 井手 勝博
連絡先電話番号	052-352-0820

自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自分に厳しく、相手にやさしく友とふれあい家庭的なぬくもりの中で笑顔に満ちたゆとりと安らぎのある「我が家」のようなホームとする	○	施設でありながら、いかに家庭的な雰囲気を作り上げていくかを日頃から入居者様、職員と共に話し合えるよう努めていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念で一番大切にしていることは、家庭的なぬくもりの中で笑顔に満ちたゆとりと安らぎのある「我が家」であり管理者、職員共に理念の実現に向けて努めている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念は常に誰からも見られるように玄関に掲示しており、ご家族様にも入居に際し説明することでご理解いただけていると思う。地域の人々に関しては良く分からない		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内会に加入しており、毎月行われる青空市場に誘っていただいたり、回覧板を入居者様と一緒に持っていったり、隣の畑の方から採れた野菜をいただいたりと近所との付き合いはある	○	施設側で行われる行事等にも参加していただけるよう、回覧板等を通じて関わりを持っていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の公園の草取りを入居者様と一緒にいたり、運動会や敬老会、又は町内の盆踊り等、学区で行われる行事に積極的に参加している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取り組んでいない	○	今後、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいけるように努めていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果は管理者より職員に伝えられ、改善項目などについて指摘を受けた部分については職員間で話し合いの場を持ち、改善に向けて取り組んでいる		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度入居者様も会議に参加され、報告については運営推進会議ファイルを使用し職員、家族様にも見ていただけるように玄関先においてある		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今のところ市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる実績はない		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在当事業所にも成年後見制度を利用されている方がおり、必要であれば支援できる体制はある		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今現在虐待の事実はない。今後も虐待のないように努める	○	日頃から入居者様の状態を確認し、少しの変化にも気づくことができるように努めていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者よりご家族様への十分な説明を行い、理解・納得を得た上で署名捺印をいただいている	○	説明時に疑問点や質問等頂いた場合には、迅速に対応できるように努めている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に傾聴する事を心がけ、意見や不満、苦情がある場合は迅速に対応するよう努めている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月施設で行われる行事の予定表や、定期的に発行している通信により入居者様の施設での生活状況の報告をしている。また金銭管理についても毎月確認の為一度は来所していただいているので、その時にも状況報告を行っている		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現在のところ特に主だった意見、不満、苦情はないが、その様なことがあれば苦情相談窓口を設けてあるので対応可能である		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	不定期ではあるが、職員の個人面談を設けており、個々の意見や提案等を聞けるような機会を設けている。また処遇会議などの議題に取り入れ話し合いの場を持つようにしている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要であれば、勤務変更等対応している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在のところ、異動や離職者はいません	○	今後その様な状況になった場合の対処法を検討したい
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	パート、正職員に関わらず研修会に参加できる機会があり、レポート作成にあたり勉強したことや考えを書くことにより、知識を深めている		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や中川区事業者連絡会への参加により管理者、職員共に交流する機会がある		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は、忘年会等を開催してくださっている。後は職員同士で定例会などを開催している		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者が努力や実績、勤務状況を把握しているかは分からない。職員一人ひとりが、施設環境等良くしていこうと努力はしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者、職員それぞれが受け止めることに努める		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居説明時に施設側に希望すること等をお聞きし、困っていることや、不安を取り除けるよう努めています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申し込み時にはご利用される本人様に必要とされる支援を見極め、他のサービス利用が必要と判断した時などは紹介等も行っている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には必ずご本人様に面接、施設見学をしていただいた上で、サービスを開始している。家族様とも相談しながら進め、本人が馴染めるように職員が間に入り、その方に合わせたペースで援助を実施している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と入居者様の間での信頼関係を大切にする事を徹底し行っており、介護だけに専念せず会話などコミュニケーションを図り信頼関係を築けるよう努めている。また、入居者様から学ぶことも多く、昔からの慣わしや、料理の味付けなども沢山教わっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員、家族は協力し合い本人を支えていく関係を築いている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	バックグラウンド等により家族、入居者様の関係の把握は出来ていると思う。その情報を踏まえ、より良い関係作りが出来るように努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人が気軽に尋ねてこられるように、訪問があった場合には気持ちよく滞在していただき、また遊びに来ていただけるように接遇マナーについては職員間で話し合われている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	孤立することのないよう、入居者様同士の関わりを持っていただくため、レクリエーションなどを通じて全員で参加できる機会を設けている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在契約終了後に関係のある方はない	○	今後契約終了後に、継続的な関わりが必要な方が出てきた場合は、対応できるように努めたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションの中で入居者様の求めていること、その人らしい暮らしが出来るように努めている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族様、他施設様にも情報提供していただき、生活歴や習慣等の把握に努め、施設生活に反映できるよう、極力これまでの生活と変わらなくストレスの罹らないように支援している	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの現状を把握し、個々の過ごし方について対応し、残存機能の把握に努め、有する力を発揮できるように支援している	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	入居者本位を基本としているが、意思疎通の取れない方等については、日々の生活や行動観察などを行い、より良く暮らすための課題とケアに反映できるよう、ご家族様や本人職員間で話し合い、計画を作成している	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現在概ね3ヶ月ごとにモニタリングを行い、見直しや評価を行っている。また、必要なケアが出てきたときには、現状に即しケア項目を追加できるように努めている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画と平行して記録が取れる工夫をしており、職員が情報共有できる。介護計画の見直し時期には記録を元に評価を行い、次の計画に活かせる様に努めている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	御家族の状況を踏まえて、病院受診や送迎等対応できるよう支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	各機関とのつながりがあり、必要時には連絡を取り支援できる体制がある		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者様は他の介護保険サービスは利用できない為、近隣の公衆浴場や、訪問理容サービス、訪問リハビリ等の活用を支援している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところ包括支援センターとの直接的な支援などはない		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関との連携でドクター、看護師による週1回の訪問診療がある。また入居者様のもとのかかりつけ医をご希望の場合、ご家族様による対応で受診していただいている		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医との直接的な関わりはないが、協力医療機関より専門医院への紹介状等で対応し、支援している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	専属訪問看護師による健康管理、24時間連絡の取れる体制や居宅療養管理指導による情報提供もあり、日常の健康管理を支援している		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院後の生活については病院側の対応であり、早期退院についても病院側で全力を尽くしていただいていると思われる。入院中の情報については常に本人面会や担当医師より情報収集し、退院後の入居生活に備えている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	定期的な健康診断や協力医療機関による健康管理で異常等あれば早い段階から医師、ご家族様と相談をしており、重度化や終末期についての方針を相談している		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期の入居者様については事業所で出来る事、出来ないことを見極めており、出来ないことについては医療機関と相談をし、その他必要とされる医療行為への支援に備えている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	ご家族様、関係者様には入居説明時に改めて物品 等を購入しないで、今までご本人様のお使いにな られていた馴染みの物をお持ちいただける様に説 明し、住み替えによるダメージを防ぐことに努め ている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	入居者様の一人ひとりのプライバシーが守られる ように配慮し、日常会話など特に気をつけてい る。記録についても、イニシャルでの記入や保管 場所も入居者様に見えないところで管理している		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	何を望んでいるのか日常の会話などから聞き取 り、望んでいる物事への自己決定がしやすいよう な環境に努めている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	日常的な食事の時間は、生活リズムを整える為 にも極力あわせていただいているが、それ以外の物 事については、無理強いせず、入居者様の意思を 尊重して支援している	○	職員側、施設側の都合に応じた対応にならない様 に徹底していきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	理美容については定期的に訪問していただき、 カット等の内容については、美容師の方と入居者 様で直接相談し決定している。身だしなみ等につ いても定期的に買い物へ出かけ、ご本人の気 に入った衣料品等をご購入いただいている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の希望を取り入れた献立や、一緒に準備をしていただいたり、片付けをしていただいている。食事時間は必ず職員も同じ時間に同じ食事をいただいている		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在のところ嗜好への支援としては、1日2回のおやつ時間の飲み物で好みのものを提供しているが、毎回ではない。他の方と提供されているものが違うと、例えば自身で好みのものを依頼したとしてもトラブルになることもある	○	極力本人の嗜好の支援が出来るように努めたいが、かえってトラブルの原因にもつながってしまうので、どのような形で支援していくかが課題である
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	その方に合わせた排泄方法や、必要物品の使用、一人ひとりの力や排泄のパターン把握により失禁の減少、物品使用量の減少に努めている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人様の希望を伺い、可能な限り希望に添えるように努めている。また入浴を楽しんでいただけるように、日替わりで入浴剤の使用などでも楽しんでいただけている	○	入浴を拒否される方も中にはおり、その様な方にも入浴を楽しんでいると感じていただけるような支援に取り組んでいきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者様の生活習慣等を把握し、一人ひとりに応じた支援を心がけている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や趣味などの把握に努め、出来る事の中から一人ひとりに合ったことを支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	現金管理については、ご本人で出来る方につい てはお持ちいただいている。管理できない方につ いては、施設側での管理となるが、ご自分の買い物 の際には、お小遣いとしてお持ちいただき、精算 等職員付き添いの下、可能な限りご本人で出来る ように支援している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	事業所行事以外にも日常的に外出が出来るように 個別でも対応している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支 援している	現在個別での外出は支援できていないが、施設行 事として普段行けない場所への外出支援を行って いる。また、法人行事として一泊旅行や、日帰り 旅行なども有り、ご家族様にも参加いただいてい る	○	個別に行きたいところへの外出支援も今後取り入 れて行きたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援を している	電話は入居者様にご自由にお使いいただけるよう に支援しており、手紙などもポストまで一緒に投 函しに行ったり支援しています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	面会時間の取り決めがなく、いつでも面会に来て いただけるようにしている。接客についても接遇 マナーに気をつけ、不快感を与えないように心が けている	○	接遇マナーに関して、勉強会開催に取り組んでい きたい
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	身体拘束については一切行っていない。禁止行為 についても理解しており、身体拘束をしないケア に取り組んでいる。	○	今後も、身体拘束をしないケアを目標に支援して いく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。居室には鍵はかけないが、玄関については最近新しい道路の整備が済み、交通量の増加による事故防止および町内での不審者の目撃情報、ひったくり事件等治安条件が悪く、玄関のみについては施錠案内をし施錠させていただいている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮することはもちろん、昼夜通して利用者の所在や様子を把握している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品の管理については、入居者様の目の届かないところに保管している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	歩行中、食事中、薬配中の事故防止のため常に見守りを行い事故防止の努めている。事故が発生した場合は、事故報告書の記入提出と事故再発防止策などを記入し周知徹底をしている		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を実施できてはいないが、救急救命講習などに参加した職員の報告書提出により、応急手当や初期対応等、周知徹底できていると思う。事務所内にも緊急時の対応法の資料があり、急変や事故発生時に備えている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	19年4月の消防法改正により、防火管理者を配置。これにより消防計画作成にあたり災害対策は出来ているが、地域住民の協力を得られる体制が整っていない	○	地域の人々の協力を得られるような体制が整っていないので、協力を得られるように地域の方々への働きかけをしていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	管理者よりご家族様への十分な説明を行い、リスクについては話し合っている。状況の変化などにより、新たなリスク発生についても早急にご家族様には報告連絡をしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日行うバイタルチェックにて体調管理を行い、体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに管理者及び協力医療機関への支持を仰ぎ対応に努めている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局から処方を受ける際に、薬剤師からの薬の説明を受け説明書をつけていただいております、説明書のファイルを作成し、職員全員が目を通せるようにしてある		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便確認の困難な方については排泄チェック表により排便間隔の把握に努めている。それ以外の方も食事の工夫や、便秘薬の処方で対応している		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後必ず口腔ケアの実施は行っている。自己管理できない方や歯科医からブラッシングの指示のある方については職員が支援している		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取された食事、水分は記録に残し常に状態の把握に努めており、栄養や水分バランスの偏りのないように支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対策マニュアルが有り、感染症に対する知識は職員間で情報交換し共有している。その都度発生している感染症についても保健所等より指導いただいている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチンには常に清潔に保ち、漂白や消毒を行っている。食材についても多量のまとめ買いはせず、賞味、消費期限に気をつけ購入し、使用するように努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りの手入れや季節の花を植栽したり、明るく親しみやすい雰囲気作りを心がけている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には必要最低限のものしか置かない様にしている。また、季節感を出せるように飾りつけなど工夫している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間内に独りになれる場所はないが、気のあった入居者様同士話をされるソファは有る		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	馴染みの品を持ち込んでいただくように入居時に 説明させていただいている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな 差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	気になるにおいや空気のだよみがないう換 気に努め、温度調節は外気温と大きな差 がないよう配慮し、利用者の状況に応じ てこまめに行っている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	扉は全てスライド式でバリアフリー構造 であり、各箇所手すりは設置され、トイ レなども狭い構造となっている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	一人ひとりの特技や出来る事を理解し、 その場面で役立てられるように支援し ている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽 しんだり、活動できるように活かして いる	施設内の季節に応じた飾り付けや、玄 関周りの花の手入れ、裏庭でのオープン カフェなど楽しんでいる		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

職員一人ひとりが入居者様との日々の会話や、生活を共に過ごす中で信頼関係を築き、家族と離れて暮らす寂しさを感じさせないよう、ゆったりとした温かい雰囲気を大切にし、行事等を通じご家族様にも更なる理解を求め、入居者様、ご家族様は勿論のこと、地域の方々からも認められるような施設を目指して行きたいと思っております。